

# 美しい音を求めて…

## ～レガートからノン・レガートへ～

ロシアからは多くの大ピアニストたちが生まれていますが、彼らはどのようなピアノ教育を受けて育ったのでしょうか？ロシアの子どもたちが使用しているピアノ教本を使って“美しい音”を響かせましょう！

### ◆講座内容◆

#### 1) ロシア奏法について

- ・大きな特徴である「レガート」「ピアニッシモ」の美しさを追求し、音楽がつながって歌になるように演奏することを目指します
- ・もうひとつの重要な要素である「ペダリング」にも繋がる基礎づくりを、子どものころから学びます

#### 2) 『はじめの一步』について

- ・ノン・レガートからはじめ、しっかりとした手のかたちを作りあげ、その上でレガートを小さいころから徹底して体得しフレーズを感じて音楽を奏でられるように練習します
- ・「手首をあげて」ではなく「手の甲をあげて」と表現し、これまでとは違う意識づけによりフレーズを引き出します
- ・「〈アクティブ〉に指を動かすとは？」美しいレガートにつながる大切な要素を説明します

#### 3) レッスンでの指導

- 各巻の中で、重要なポイントを数曲取り上げ、指導のコツを紹介しま



### 古畑由美子

(ふるはたゆみ)



5歳より、ピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科を経て、桐朋学園大学ピアノ科を卒業。同大学弦楽器部会伴奏研究員を経て、ザルツブルグ・モーツアルテウム音楽大学留学。在学中、マスタークラスにてレフ・ナウモフ、ドミトリー・パシキロフ両氏に毎年、師事。帰国後は東京、横浜、新潟、札幌でリサイタル、オーケストラの鍵盤楽器、在京オーケストラメンバーとの室内楽や、FM出演、いしかわミュージックアカデミー、浜松バンドクリニック、草津国際音楽アカデミーなどの公式伴奏者も務めている。後進の育成にも力をいれており、ロシアの子供のピアノ教材を使用した指導講座、及びグループレッスンを各地で行っている。洗練された技術と透明感あふれるピアニッシモは高く評価される。

イタリア ファウスト・トレフランカ国際ピアノコンクール入賞、第3回国際ピアノデュオコンクール2台4手部門第2位（日本人最高位）。

これまでにピアノを梶野三重子、故中島和彦、川島伸達、村手静子、クリストフ・リースケ、レフ・ナウモフ、ドミトリー・パシキロフ、ドミトリー・アレクセーエフ各氏に、室内楽を故数住岸子、紅林こずえ、練木繁夫、H.ビュイグ＝ロジェ各氏に、クラヴィコードをミケーレ・ベヌツィ氏に師事。日本ピアノ教育連盟会員、桐朋学園大学音楽学部付属音楽教室 山川実技所所属講師。

★セミナー終了後、古畑先生によるご相談会を開催いたします。副教材は？ペダルは？等、ご質問を受け付けます

#### ●日時

2022年 11月1日(火)  
10:00～12:00

#### ●受講料(税込)

2,500円

#### ●教材

「ロシア奏法によるピアノ教本 『はじめの一步』①②③」  
参考:『はじめの一步 曲集』(以上、音楽之友社)

※当日会場でも販売いたします

#### ●会場

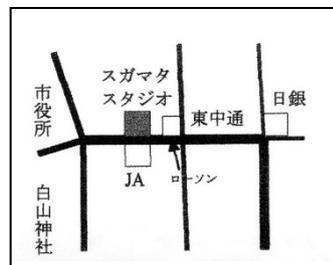
スタジオ・スガマタ

〒951-8116 新潟市中央区東中通 1-86 ヴィラ東中通

#### ●お問い合わせ・お申込み先

トーポリ会 太田真佐子

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽 2-5-5  
TEL: 080-5086-4461



キリトリ線

トーポリ会 行

申込日 月 日

古畑由美子公開講座

2022年11月1日(火)

『はじめの一步』実践セミナー

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。